

ワイリー・ジャパン株式会社 / Z-3

開催日時・会場 9月19日(水曜日) 12:10-13:10 403(4階)

Wiley Researcher Academy — 論文出版スキルを身に付けた 若手研究者・学生を育てたい大学のためのEラーニングプログラム

多くの研究型大学にとって、学生や院生・若手研究者に論文執筆・出版のスキルを与える意義は大きい。国際的なジャーナルで論文をスムーズに出版できるようになることは、彼らのキャリアアップに直結する。また大学にとっても、研究パフォーマンスの重要な評価指標である論文出版数の向上が期待できる。

しかし、従来行われてきた論文投稿の指導法は、いずれも万全とはいえない。研究室レベルで個別に与えられる指導は、教員によるばらつきが大きく、総合性・体系性に欠ける。研究支援部門や図書館が主導して、大学の内外から講師を招いてセミナー形式の指導を行う大学も少なくないが、1回から数回のセミナーで扱える主題は限られ、また開催日時に合わせて参加できる人数も限定される。

こういった欠点を克服する狙いでWileyが開発したのが、EラーニングプログラムWiley Researcher Academy (WRA)である。その利点として、次のようなものが挙げられる。

- 大学単位での契約によって、所属する教員から学生まで誰でも利用可能
- 論文構成法など基礎的な事項から、査読の過程・出版倫理・研究データ管理・オープンアクセスといった踏み込んだ内容までをカバーする14の学習コースを用意。バランスのとれた指導を全学レベルで提供できる
- 受講者は、自分が学びたいコースを選んで、24時間いつでも、また自宅からでも、自分のペースで学習を進められる
- 学術出版におけるWileyのネットワークを生かして、ジャーナル編集長など各分野の専門家がコース内容を執筆・監修しているため、信頼性が担保されている
- 文章のみでの説明に留まらず、動画やQ&Aを多用したインタラクティブな教材となっているため、受講者が飽きることなく継続しやすい
- 利用者数・受講時間・進捗などのデータを管理者用ダッシュボードから取得でき、導入後の投資効果を検証できる

今回のランチオンセミナーでは、既に海外の大学で導入が始まっているこのWRAを、実際の利用場面を想定したデモを交えながら紹介する。

司会 / 講演者

岩崎 治郎 ワイリー・ジャパン株式会社
シニア・マーケティング・マネージャー



1988年京都大学教育学部卒業。大手書店に入社し海外学術出版物のマーケティングに従事するとともに、5年間の英国駐在を経験。2008年に出版社Wileyの日本法人ワイリー・ジャパンにマーケティング・マネージャーとして入社し、2009年より現職。主にイベント開催やオンラインマーケティングを通じて、日本での同社製品の普及を図っている。

講演者

藤野 寿也 ワイリー・ジャパン株式会社
シニア・アカウント・マネージャー

2000年にWileyに入社。入社後は一貫して書籍営業畑を歩み、専門洋書やテキストを日本市場で販売。2017年9月からWiley Researcher Academy の営業担当となり、大学・研究機関への紹介を行っている。

Deepika Sood Wiley
Business Development Manager

Wiley Researcher Academyの専任マネージャーとして、アジア地域の大学にその価値を紹介する活動を行っている。